

平成27年第2回北空知広域水道企業団議会定例会会議録

平成27年12月21日企業団議会は北空知広域水道企業団大会議室に召集された。

(開会10時59分)

1. 出席議員 9名		1 番	辻 本	智
		2 番	菅 原 明	義
		3 番	木 根 昭	夫
		4 番	和 田 秀	隆
		5 番	渡 邊 敏	昭
		6 番	高 田	勲
		7 番	土 井	享
		8 番	山 本 剛	嗣
		9 番	向 井 敏	則

2. 欠席議員 なし

3. 地方自治法第121条の規定により、説明のため会議に出席した者は次のとおり

企 業 長	深 川 市 長	山 下 貴 史
副 企 業 長	沼 田 町 長	金 平 嘉 則
〃	秩 父 別 町 長	神 藪 武
〃	北 竜 町 長	佐 野 豊
〃	妹 背 牛 町 長	寺 崎 一 郎
監 査 委 員		五 十 嵐 力
〃		山 田 武 三
事 務 局 長		若 林 祐 治
事 務 局 次 長		伊 賀 俊 哉
技 術 長		笠 井 博 幸
副 主 幹		古 川 和 英

4. 職務のため、会議に出席した議会事務局職員は次のとおり

事 務 局 長	(兼)	伊 賀 俊 哉
書 記		田 中 秀 和

- 議長（渡邊敏昭議長） これより本日をもって招集されました平成27年第2回北空知広域水道企業団議会定例会を開会いたします。ただちに本日の会議を開きます。
- 議長（渡邊敏昭議長） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第113条の規定により、3番木根昭夫君、6番高田勲君を指名いたします。
- 議長（渡邊敏昭議長） 日程第2 会期の決定を議題といたします。お諮りいたします。今期定例会の会期は本日1日間といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。
（ 「異議なし」の声あり ）
- 議長（渡邊敏昭議長） ご異議なしと認めます。よって会期は本日1日間と決定いたしました。
- 議長（渡邊敏昭議長） 日程第3 諸般報告ですが、議長の諸般報告は別紙文書にてお手元に配布しておきましたのでご了承願います。次に企業長より業務報告をいたさせます。
- 企業長（山下貴史企業長） （ 山下企業長 発言を求める ）
- 議長（渡邊敏昭議長） 企業長。
- 企業長（山下貴史企業長） 本日ここに平成27年第2回議会定例会の開催にあたり、現在までの業務の経過と対応について申し上げ、議員各位の一層のご理解を賜りたいと存じます。
最初に水道用水供給状況について申し上げます。
今年度これまでの水道用水供給状況は、別途資料で配付させていただいておりますが、供給量は、第1四半期は前年度の同期のものに比べ3.9%(364m³/日)の減量となっております。第2四半期でも4.3%(412m³/日)の減量となっておりまして、4月から11月までの7か月間の合計で比較をいたしますと5.3%(502m³/日)の減量という実績となっているところであります。
この減少の理由は、管内における給水人口の減少、景気の低迷、節

水機器の普及、さらには構成団体の水道事業の有収率の向上などの要因が重なったものであろうと考えておりました、これは平成19年頃からその傾向が続いているものであります。

次に水源の状況について申し上げます。

水源であります沼田ダムは、平成22年にダムの上流部における集中的降雨の発生がありましてから、毎年のようにいわゆるゲリラ的豪雨が起こるようになって、そのたび毎にダム全体が濁るという状況が続いてきております。

そのことによりまして、浄水薬品の使用量を増やさなければならないことや、また汚泥処分量も増えることとなり、それらの費用が毎年度のように嵩んでいるところでありましたが、幸い今年度におきましてはゲリラ的豪雨がダム上流部においてはなく、これまで比較的安定した水質で取水できる状況が続いております。

ダム水位も平年並みを維持しており、降雪期に入りましてさらに水質が安定しておりますことから、今後におきましても大きな水質変化はないものと見込んでおりますが、より注意深く水源観測、水質検査等を行い、適正に水質管理を続けてまいりたいと考えております。

次に次期の長期財政計画の策定について申し上げます。

長期財政計画につきましては、平成28年度からの10か年間の計画期間といたしておりまして、そのうち5か年毎に料金の算定期間として、先の平成27年第2回臨時議会において条例改定の議決をすでにいただいておりますが、そのとおりに平成28年度から供給料金を一部値上げを行い、この期間に施設の耐震化計画と、将来に向けての長期的な更新計画でありますアセットマネジメントの策定を行うこととしておりまして、施設の整備を進めていく考えとさせていただきます。

今後とも、当企業団の保有します限られた資金等をもとに施設の効率的な更新と延命化を図り、水道用水の安定供給の確保に最大限努めてまいりたいと考えております。

以上、業務の概要について一端を申し上げ、業務報告とさせていただきます。

○議長(渡邊敏昭議長) ただいまの業務報告にたいし、質疑を許します。
質疑ありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○議長(渡邊敏昭議長) 質疑がないようですので、企業長の業務報告を終わります。

○議長(渡邊敏昭議長) 日程第4 認定第1号「平成26年度 北空知広域水道企業団水道用水供給事業決算の認定について」を議題といたします。提案理由の説明を求めます。

○企業長(山下貴史企業長) (山下企業長発言を求める)

○議長(渡邊敏昭議長) 企業長。

○企業長(山下貴史企業長) ただいま議題となりました認定第1号「平成26年度北空知広域水道企業団水道用水供給事業決算の認定について」提案理由を申し上げます。

最初に、平成26年度の水道用水供給の実績についてであります。年間343万0,095立方メートルを供給いたしまして、前年度と比較いたしますと、9,603立方メートルの減少となった次第であります。

次に、経理の状況について申し上げますが、別冊決算書で報告をさせていただいておりますのでここでの説明は省略させていただきますが、収益的収支は黒字となりまして1,417万2千円を純利益として未処分利益剰余金へ積立てを行いまして、また、資本的収支におきましては7,871万2千円の収入不足となり、当年度分消費税資本的収支調整額48万2千円及び損益勘定留保資金7,823万円をもって補填するものとし、これらの処分により、決算書8ページの剰余金処分計算書案として記載しておりますとおり平成26年度末の利益剰余金残高を8,541万5千円あまりとしまして翌年度へ繰越すこととする考えであります。

これらのことから、平成26年度末の当企業団における留保金の額は、平成23年度からの資金計画策定時のものと比べますと、若干ながら予定を上回る留保ができております。

なお、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づきます平成26年度末資金不足比率の算定につきましては、資金不足はない旨の報告を北海道知事宛てにいたしているところでありますのでご報告させていただきます。

以上、決算の概要を申し上げまして、提案の説明とさせていただきます。

よろしくご審議の上、認定くださいますようお願い申し上げます。

○議長(渡邊敏昭議長) 説明が終わりましたので質疑に入ります。

質疑ありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○議長(渡邊敏昭議長) 質疑なしと認め、これより討論に入ります。

討論ありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○議長(渡邊敏昭議長) 討論なしと認め、ただちに本件について採決いたします。

お諮りいたします。

認定第1号は、原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(渡邊敏昭議長) ご異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり認定されました。

○議長(渡邊敏昭議長) これにて、本会議に付議された案件の審議は全部終了いたしましたので、平成27年第2回北空知広域水道企業団議会定例会を閉会いたします。

(閉議 11時09分)